



# 高断熱アルミサッシ シャッターサッシ サーマルII イタリアS(半外付型)(サッシ枠) 取付け説明書

MAG-744 2-990968.①②

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。 ※□内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■施工される方へお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** ...取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載してありますので必ずお読みください。

●本製品は複層ガラス使用のため、重量が最大で80kgになります。重量に見合った人数で作業してください。思わぬケガをするおそれがあります。  
●シャッター本体の脱落・漏水・変形による作動不良防止のため、下記事項を厳守してください。  
●本製品は木造用です。ALC鉄骨造・RC造などに取り付けしないでください。  
●シャッター本体は必ず外壁仕上げ前に直接構造体に取り付けてください。開口部を付け枠等でふさぐ場合は、一体物と同じ強度になるように取り付けてください。  
●必ず指定のスクリーナード・木ねじで必ず枠を固定した後、障子を建て込んでください。  
●付け柱をまぐさ上部のブラケット(シャッター取付用)取付部に取付けてください。付け柱がないとブラケットが固定できません。ブラケット取付面が平らであることを確認してください。  
●シャッターが連窓の場合は、吊り束を取り付けてください。吊り束には最大60kgの重量がかかりますので、□90mm以上の木材を使用してください。

## ▲注意

●障子の落下防止のため、下記事項を厳守してください。  
●本製品はかなりの重量があるため、必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱で必ず開口部を作ってください。  
●取付けねじは、必ず締め付けてください。  
●テラス(W2000以上)に付いている下枠補強ブラケットは、障子重量を支える重要な部品です。必ず指定のねじで締め付けてください。下枠が垂れ下がるおそれがあります。  
●障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。  
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。  
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープを張ってください。  
●テラス(W2000以上)の場合は、外壁材取付け後、下枠補強ブラケットとの間にシーリング材を充ててください。  
●防水シールを圧着してください。(本文中の図参照)

## ■施工上お願い

●本製品のうち、サッシ枠の組立て及び取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。サッシ枠の組立て・取付けはシャッター(電動)の施工範囲には含まれません。  
●サッシ枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠の上下の反りがないようにしてください。取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。  
●モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないよう指導してください。  
●モルタルはく離剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。  
●シャッター部分の組立て・取付けについては本体同梱の取付け説明書をご覧ください。

## ■ねじ一覧表

①	②	③	④
φ2.1×32 スクリーナード	φ3.8×38丸木ねじ	φ3.5×20皿木ねじ (アングル部)	ワッシャー付き丸木ねじ (テラス W2000以上)のみ

## ■取付け順序

### 1 付け柱の取付け

●柱寸法に合わせて、まぐさ上部(両端)に付け柱を取り付けます。(A部)

#### ▲注意

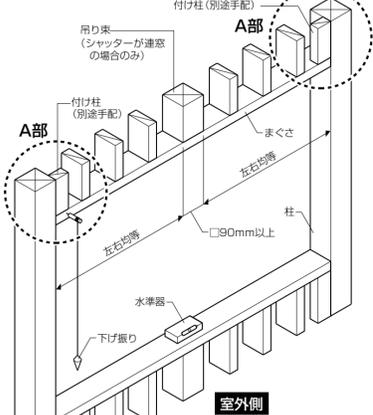
●付け柱は、必ず取り付けてください。ブラケットが固定できず、本体の脱落・変形による作動不良の原因になります。  
●ブラケット取付面が平らであることを確認してください。本体が正しく固定できず、雨漏りの原因になります。

※付け柱は、柱と室外側を面一にしてください。  
※ブラケットは、本体と同梱されています。

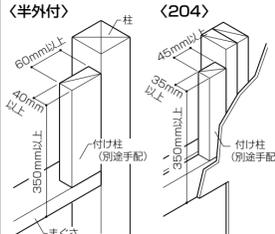
#### ▲注意

●シャッターが連窓の場合は、吊り束を取り付けてください。吊り束には最大60kgの重量がかかりますので、□90mm以上の木材を使用してください。本体の脱落・変形による作動不良の原因になります。

※吊り束は左右均等の位置に取り付けてください。ただし、連窓するシャッターが左右均等でない場合は、上枠の連窓ブラケット取付け穴に吊り束の中心がくるようにしてください。(3)の図参照)



### ■A部詳細図 (半外付)



### 2 サッシ枠の取付け

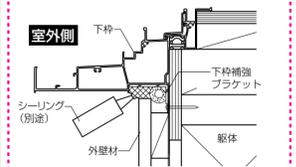
①サッシ枠の取付け位置を決めます。  
②開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。  
③下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。  
※縦枠の倒れ・上下枠の反り・躯体と下枠の間の透き間は、かいもの等で調整してください。シャッター作動不良の原因となります。  
④防水シール(本体に同梱)の左右を確認します。  
⑤切込みを縦枠に合わせ、縦枠上部と上枠のフィンに透き間なく防水シールを圧着します。(B部)

#### ▲注意

●取付けねじは確実に締め付けてください。下枠が外側に倒れ、障子が脱落する等の不具合が発生することがあります。

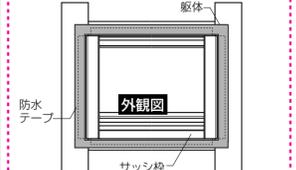
#### ▲注意

●テラス(W2000以上)の場合は、外壁材取付け後、下枠補強ブラケットとの間にシーリング材を充ててください。漏水の原因になるおそれがあります。

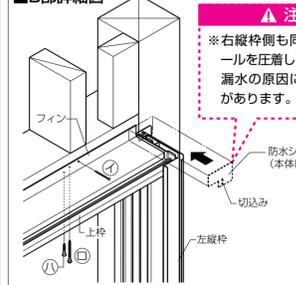


#### ▲注意

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

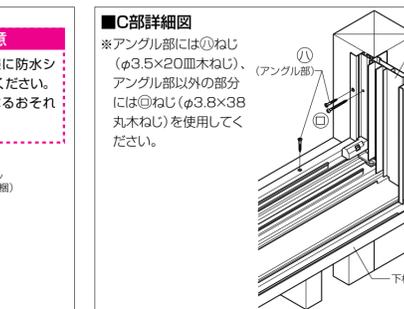
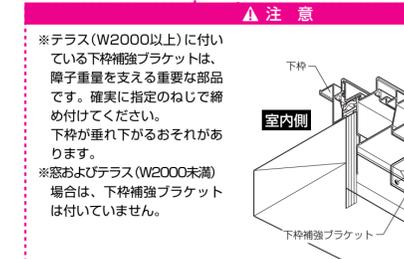
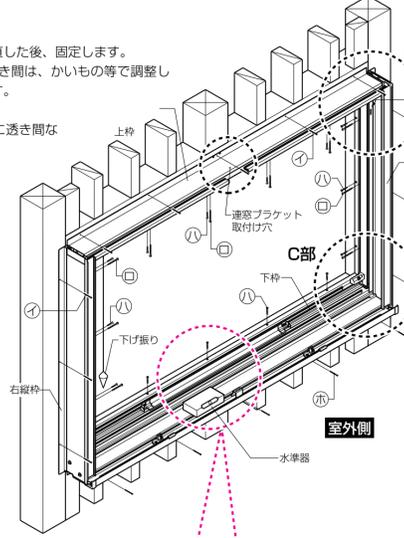


### ■B部詳細図



#### ▲注意

※右縦枠側も同様に防水シールを圧着してください。漏水の原因になるおそれがあります。



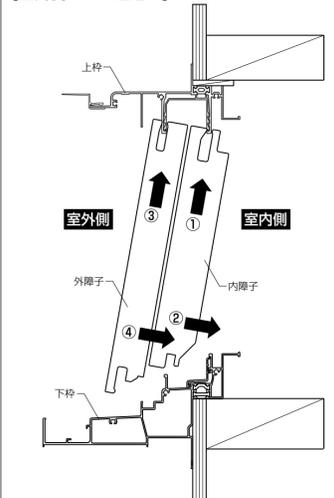
### ■C部詳細図

※アングル部には①ねじ(φ3.5×20皿木ねじ)、アングル部以外の部分には②ねじ(φ3.8×38丸木ねじ)を使用してください。

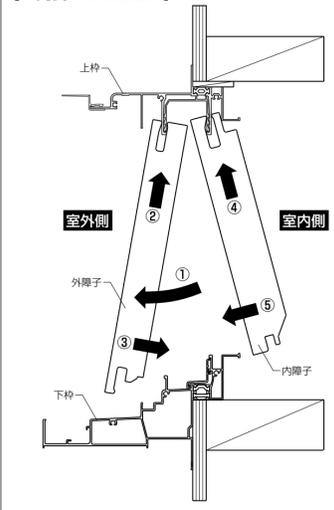
### 3 障子の建込み

●右図の手順で障子を入れます。  
※枠と障子の位置関係は納まり図を参照してください。

#### 【室外側からの建込み】



#### 【室内側からの建込み】



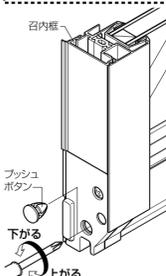
## ■建付け調整

### ■戸車調整

●プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。)  
※出荷時、障子は下がった状態にしています。それ以上下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

### ■お願い

※召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(部品を下げて透き間をなくします。)



### ■クレセント調整

#### 【上下方向の調整】(クレセント本体)

①マイナスドライバーでキャップを外します。  
②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。  
※調整後はしっかりねじを締め、キャップをしてください。

#### 【左右方向の調整】(クレセント受け)

●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。  
※調整後はしっかりねじを締めてください。

### ■外れ止め調整

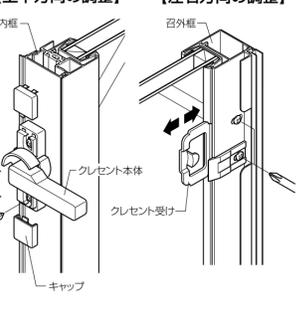
●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。  
※調整後はしっかりねじを締めてください。

#### ▲注意

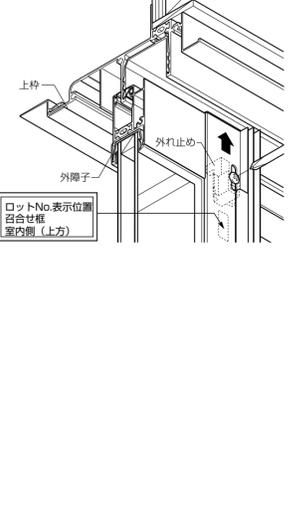
●必ず外れ止め調整ねじを上げてください。障子が落下するおそれがあります。



### 【上下方向の調整】

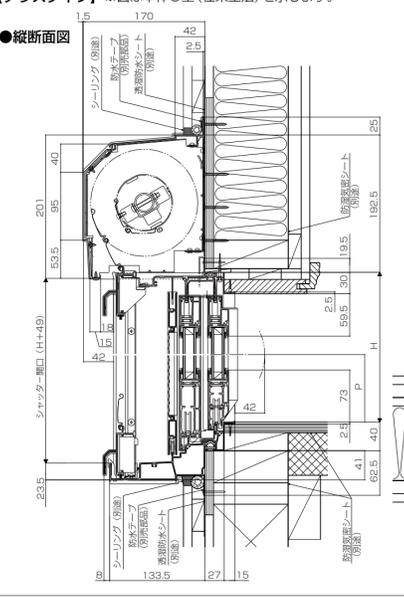


### 【左右方向の調整】



## ■参考納まり図

【テラスタイプ】 ※図は本体S型(在来工法)を示します。



### ●横断面図

